

◎特集 江戸時代の小峰城を「探見」する

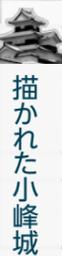
歴史民俗資料館 企画展

# 小峰城絵図の世界

◎会期 10月8日(土)～11月27日(日)

本市のシンボルである小峰城。その江戸時代初期からの様子が分かる絵図が多数残されています。歴史民俗資料館では、初公開となる絵図を含め、近年発見された、幻の絵図などを展示する企画展を開催します。

今月号では、企画展の内容と絵図の一部を紹介します。



### 描かれた小峰城

江戸時代、全国の藩が様々な目的で城や城下町の絵図を作りました。もちろん小峰城の絵図も色々な種類のものが現在まで残されています。その絵図を見ると、江戸時代初期から明治維新までの、小峰城や城下町の小さな変化から大きな変化まで知ることができます。



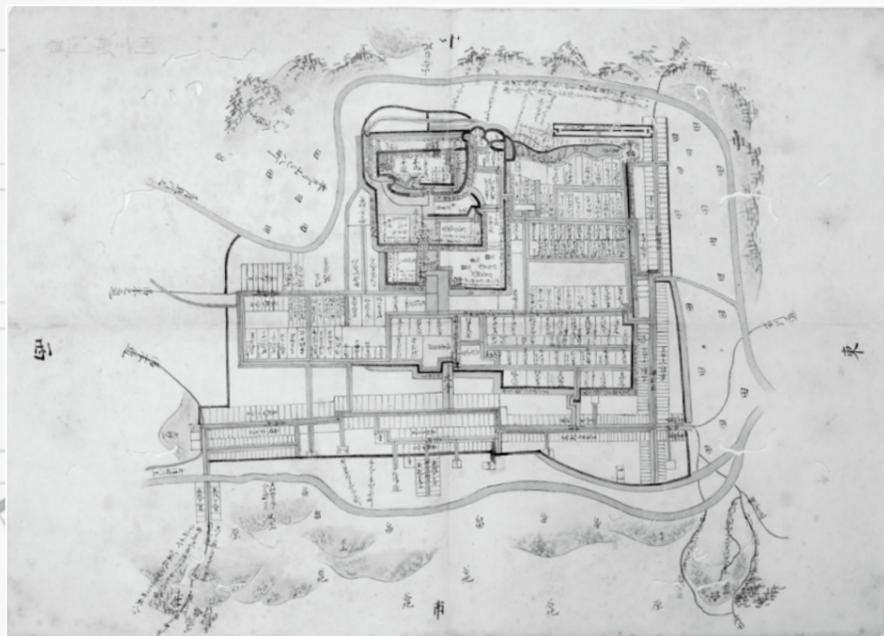
### 幻の絵図の発見

小峰城や城下町を大きく改修し、現在の形に整えたのは初代藩主の丹羽長重ですが、「白河風土記」(1805年編纂)には、長重以前の城と町の改修が分かる、「慶長古図」と言われる絵図があると記されています。その絵図は、幻の絵図でしたが、近年2点発見され、小峰城と城下町の古い姿が分かるようになってきました。

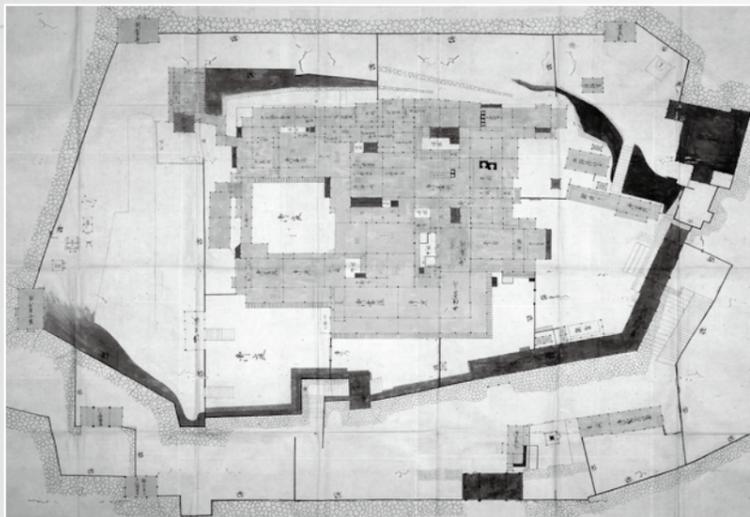


### 幻の絵図から明治維新後の小峰城まで

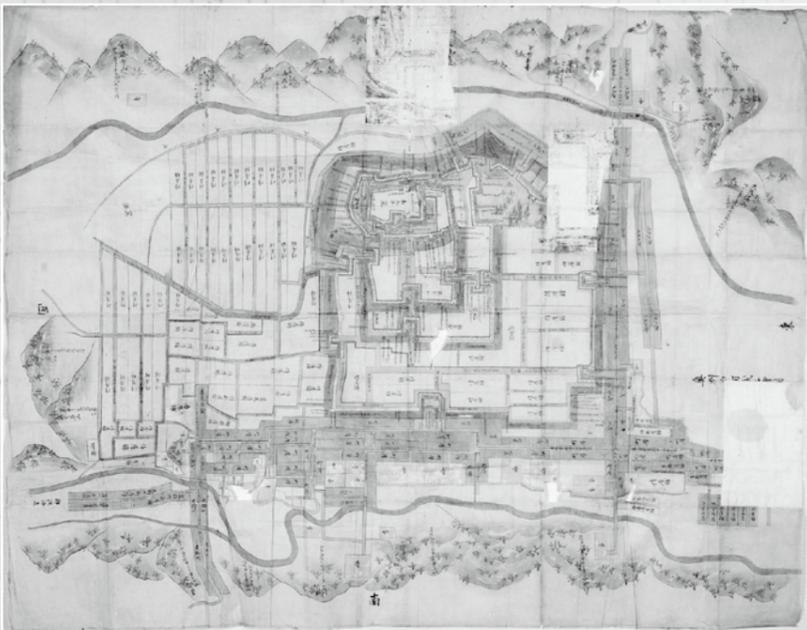
今回の展覧会では、発見された幻の絵図である「白河城之図」(①)と鎮国守国神社(三重県桑名市)のものを同時に紹介します(原寸複製)。また資料館の所蔵品では、近年寄贈された「奥州白河城之絵図」(③)を初公開します。このほかにも本丸御殿の間取り図(②)や明治維新後の小峰城図など、様々な種類の絵図を展示します。絵図の大きさも実際に感じていただきながら、描き込まれた内容を詳しく観察できます。ぜひご来館ください。なお、細かい部分を見るには、双眼鏡持参がお勧めです。



①白河城之図(宮城県図書館蔵)丹羽長重改修以前の様子 ※原寸複製を展示



②白川御本丸御住居絵図(部分)(個人蔵、学習院大学史料館寄託)江戸時代後期の様子



③奥州白河城之絵図(当館蔵)17世紀後半の様子

- ◎開館時間 午前9時～午後5時
- ◎会場 歴史民俗資料館(中田)
- ◎休館日 毎週月曜日、10月11日(火)  
(※10日(祝)は開館)
- ◎入館料 無料

### ◆展示解説会を開催します◆

- ◎日時 10月8日(土)・11月3日(祝)  
午後2時から  
※申込不要

### 【問い合わせ先】

歴史民俗資料館 ☎272310